

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すだちプレス				公表日 令和 7年3月14日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	基本的な人員配置基準を満たし、さらに人員を配置している。また、心理担当職員として専門職を配置している。	作業療法士の専門職員の配置を予定している。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	目的に合わせたスペースを確保している。視覚化によりスケジュール確認ができるようにしている。物の管理をやすくしている。	子どもの成長に合わせ、構造化の工夫を図る。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	活動によって部屋を区切り、学習机と椅子は子どもの背丈に合わせて設置している。	職員と子どもと一緒に整理整頓を心がけ、環境づくりを継続していく。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	子どもが個別の場所を利用したい時は、パーティションを活用して、安心できる場所を用意している。	個別の場所を複数で利用したい時など、パーティションの仕切り方・時間を区切るなど工夫を図る。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	法人による全体会議を定期的に実施している。内容を事業所ごとに共有している。	今後も全体会議を定期的、または必要に応じて実施し、広く職員が参画できるよう継続していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	モニタリング時に保護者様の要望、ご意見をお聴きし、評価表についても説明をした。	評価について職員間で共有し、業務改善につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日のミーティングにて意見を交換し、支援について話し合っている。	日々のミーティングや、その都度話し合いの場を設け、業務内容を振り返り、改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	外部評価はまだ実施していないが、自己点検表を活用し、法令に順守した適切な事業運営に努めている。	開所から1年経過したところである。今後、利用者・職員以外の第三者による評価も検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	zoom研修等、専門家による外部研修に積極的に参加している。また、事業所内でも研修を実施し、内容等について随時共有している。	情報収集を行い、研修を受講する機会を確保していく。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	HPで公表している。事業所内でも自由に閲覧できるように設置している。	支援プログラムについて職員間で共有し、共通認識のもと支援の提供を継続していく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9	0	様々なところから、個々のニーズや課題を把握し、考慮した上で個別支援計画を作成している。	今後も日々、子どもの様子や、成長を見守り、保護者様のニーズや課題についての情報共有を行い、個別支援計画の作成を継続していく。	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	支援会議等を設け、職員間で共通理解を深め検討している。	定期的な支援会議を継続していき、検討を重ねていく。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個別支援計画書を基に会議を行い、支援方法などを随時確認できるようにしている。	今後もサービス担当者会議の開催を継続し、職員間で共通認識のもと支援を行う。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	標準化された測定ツールを用いると同時に、職員間で子どもの日常における適応行動等の観察、状況などを話し合い記録・分析をしている。	子ども本人や、保護者様、学校とも連携を深め、情報収集を継続していき、実際の活動や行動に基づいた評価をすることで、より具体的な支援につなげていく。	
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	個別支援計画書は、ガイドラインに沿って、個々の支援に必要な項目を設定し、作成している。	子どもの成長とともに、随時必要に応じた項目の見直しを行い、具体的な支援につなげていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	職員間で話し合っ活動プログラムの内容を決めている。	職員間で情報共有し、子どもたちの様子や、成長に合わせた活動プログラムを立案していく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	毎日に個別活動、集団活動、課外活動を組み合わせ、プログラム内容が固定しないよう工夫している。	5領域に基づくプログラムを組み合わせ、活動の幅を広げ、サポートにつなげていく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個々の課題やニーズを踏まえ、個別支援計画書を作成し、適宜個別プログラム、または集団プログラムを実施している。	子どもの発達や成長に合わせた個別プログラム・集団プログラムを立案し、個々の課題やニーズに寄り添ったサポートにつなげていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	職員間でミーティングを行ない、プログラムの内容確認、また役割分担等の連携を取りながら、サポートを行っている。	毎日の活動内容について必ず職員間で情報共有・確認を行い、職員同士の連携を密にサポートを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	毎日の振り返りを行い、必ず職員間で共有している。	日々の振り返りを必ず行い、職員間で状況を話し合い、次のサポートにつなげていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	サービス提供記録・ケア記録等を必ず行い、サポートにつなげている。	今後も日々の活動の様子やサポートに関する記録を徹底して継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	都度、支援会議を行い、職員間で情報を共有し、計画の見直し等を行っている。	日頃から子どもの活動に寄り添い、成長を見守りながら個別支援計画の適切な見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	9	0	4つの基本活動のほかにも、宿題のサポート等を日々の活動に組み合わせ、支援を行っている。	法令を遵守し、ガイドラインに沿って、活動内容を組み合わせ、支援を行っている。
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	活動のプログラムによっては、子どもたちの意見を聴き、ルールを決めたり、順番などを決めてもらうなど工夫している。また、余暇時間の過ごし方などは、子どもが選択し決めることができるようサポートしている。	今後も子ども主導による活動プログラムの立案などの工夫を重ね、サポートしていく。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	必要に応じて、担当者会議などを行ない、児発管が参加している。	今後も必要に応じて、関係先との情報共有と相互理解に努め、児発管による会議への出席を予定していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	地域の医療機関・関係先と連携をとり、体制を整えている。	今後も必要に応じて、関係先との情報共有と相互理解に努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	随時、連絡がとれるように体制を整えている。また、学校側から情報を提供してもらっている。	今後も必要に応じて、関係先との情報共有と相互理解に努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	法人内の児童発達支援事業所からの情報提供をしてもらっている。	今後も必要に応じて、関係先との情報共有と相互理解に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	現在、対象者がいない。	今後、必要に応じて情報共有を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	研修等には積極的に参加し、連携を図るところ。	情報収集を行い、研修を受講する機会を確保していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	法人内の民間学童クラブと交流の場を設けている。課外活動や長期休暇時の行事に積極的に参加し、一緒に活動を行っている。	季節毎のデイキャンプや、収穫体験などの課外活動を継続し、職員や子ども同士の交流をさらに深めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9	協議の場の参加を検討している。	関係機関との連携を深め、地域で安心して生活できる支援体制づくりに参画していく。
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	毎日の連絡帳や保護者様連絡用のLINEの活用、送迎時の機会を利用してお伝えしている。	毎日の連絡帳で日々の活動の様子をお伝えするとともに、連絡用LINEを活用し適宜、情報共有に努めていく。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	保護者会で実施している。実施の方法を検討している。	保護者会、ママカフェの開催を通じて、情報提供を行っていく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	ご契約時や保護者様との面談時に適宜行っている。また、いつでも閲覧できるように事務所に設置している。	必要に応じて、丁寧な説明を心がけるようにしていく。	
37	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者様との個別の面談を随時行っている。子ども本人とは、カウンセリングを適宜行っている。	今後も保護者様と情報共有を行い、子どものカウンセリングを継続して行っていく。	
38	「個別支援計画書」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	9	0	個別支援計画書を作成後は、保護者様にご確認いただき、同意を得ている。	個別支援計画について、不明な点等があればご遠慮なくお問い合わせいただけるよう丁寧な説明を行っていく。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	必要に応じて、個別の面談の機会を設けたり、連絡帳へのコメントや保護者様連絡用ラインを活用し、対応をさせていただいている。	日頃から、保護者様とコミュニケーションを深め、ご意見やご相談をしやすい関係を築き、支援につなげていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者会の開催を実施している。	保護者会の開催を通じて、保護者様同士の交流の場を設けるとともに、親子行事などを企画し交流の機会を広げる。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情対応マニュアルを設置し、苦情受付担当者、苦情解決責任者等の体制を整えている。状況を十分に把握し、適切な対応を行っている。	個別での面談時や送迎の機会を通じて、保護者様に体制の周知を図り、安心・安全にご利用いただけるよう適切な対応をしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	月毎の活動予定を管理し保護者様と情報を共有している。連絡用LINEでは、活動プログラムの予定や詳細について連絡をしている。また、定期的にインスタグラム等SNSを活用し、活動の様子等を発信している。	季節ごとの課外活動や、長期休暇中の行事の様子などを「すだちNews」で連絡用LINEを活用し、配信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	常に個人情報の取扱いに留意している。	職員間で共通認識のもと、個人情報の取扱いについて留意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	デジタルツールを用いた意思疎通、文書による情報伝達、対面でのコミュニケーション等を適宜組み合わせ対応している。	個々の状況やご希望に寄り添いながら、必要に応じて、柔軟に対応をしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	事業活動に関する情報を積極的にHPやSNS等で公開し、地域住民の方の理解とご協力のもと、運営を行っている。	地域住民の方からのご意見や要望を真摯に受け止め、事業運営に反映していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	ガイドラインに沿って、マニュアルを策定し、随時、職員や保護者様が閲覧できるように設置している。また、研修及び訓練を実施している。	定期的に各々のマニュアルの見直しを行い、研修・訓練を実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	ガイドラインに沿って、マニュアルを策定し、随時、職員や保護者様が閲覧できるように設置している。また、研修及び訓練を実施している。児童と一緒に公衆電話の使い方など必要な訓練など実施している。	定期的に業務継続計画（BCP）の見直しを行い、研修・訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	ご契約時に保護者様に確認し、内容を共有している。	個別の面談時等の際にも保護者様と情報共有し、必要に応じて対応していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	ご契約時に保護者様に確認し、必要に応じて対応をしている。	個別の面談時等の際にも保護者様と情報共有し、必要に応じて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	ガイドラインに沿って安全計画を策定し、項目ごとに点検、改善点を職員間で話し合い共有している。外部研修を積極的に受け、内容を内部研修で共有し、安全管理に努めている。心肺蘇生法等の研修を受けている。	安全計画に基づき、研修や訓練を行い、非常時にもサービス提供が継続できるよう安全管理に努めていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	入退室システムを導入し、子どもの所在確認を行っている。社内置き去り防止システムの導入等をSNSなどで配信し、周知を図っている。	保護者様へ緊急時の避難先、連絡先の確認等を定期的に行い、子どもの安全確保に関して連携を図っていく。外出先でのGPSを導入し、子どもの安全確保に努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット記録し、職員間で共有している。再発防止に向けて、話し合いの場を設けて検討している。	日々の中でのヒヤリハットを見逃さず、振り返りと検証を重ね再発防止に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	新規採用時に研修をし、職員間で共通認識を持って対応している。外部研修を積極的に受け、内容を情報共有できるよう研修を行っている。	継続的に研修を行い、虐待防止について適切に対応していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	9	0	新規採用時に研修を行い、職員間で共通認識を持って対応している。保護者会や、個別の面談時に説明を行い同意を得て、個別支援計画書へ記載している。	身体拘束の適正化、廃止に向けた取り組みを職員間で共通認識のもと対応していく。	